

## フランス・フィンランドでの学びを基にグローバルリーダーへ

～「専門高校生による海外インターンシップ事業」への参加～ 熊本県立南陵高等学校

熊本県教育委員会の「平成29年度専門高校生による海外インターンシップ事業」において、本校生活経営科1年岡乃さん、2年斎藤さんの2人（県全体では10人）が、フランス及びフィンランドへ9月29日（金）から10月6日（金）までの8日間の研修に参加しました。



フランスでは、熊本県出身のシェフ手島竜司氏のレストランを訪問し、「野菜を作っている方とコンタクトを取ることも料理人の仕事である。」とのシェフの言葉をいただきました。高校で、「つぼん汁」や「ねったんぼ」などの郷土料理を始め様々な料理を製作する私たちにとって、食を通じて人とつながることの大切さなどを学びました。



また、熊本県出身のデザイナー田山淳朗氏のパリコレクション作品展示会を視察（写真1）、フィンランドの母子支援施設「ネウボラ」への訪問では、現地高校生と「家庭科」や「福祉」についての意見交換も実施し、育児には母子支援・家族支援が必要であることを学びました（写真2）

【写真1】

【写真2】



このほか、アパレルメーカーの「マリメッコ」では、人々の暮らしに合わせて洋服や生活用品を製作する考え方を学び、日本での「しつらい」にも関連することを実感しました。（写真3、4）

【写真3】

【写真4】

